

新たな交渉参加国として日本を歓迎する旨のTPP交渉参加国の発表について

20日のインドネシアにて開催されたTPP閣僚会合の後、TPP交渉参加11か国を代表して、日本を新たな交渉参加国として歓迎する旨のグローサー・ニュージーランド貿易大臣メディア声明が発出されたことを歓迎する。今後、交渉参加国が必要に応じ国内手続を完了した後に、我が国は正式に交渉参加国として認められることとなる。

TPP交渉への参加は、アジア太平洋地域の成長を日本に取り込むことにつながるものであり、我が国の成長戦略の柱である。我が国が他のTPP参加国とつくっていく新たな経済秩序は、単にTPPの中だけのルールにとどまらず、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）など他の地域経済連携と併せ、より大きな構想であるアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）において、アジア太平洋地域の新たな貿易・経済活動のルールの礎となる。

そして、自由、民主主義、基本的人権、法の支配といった普遍的価値観を共有する国々と共に、アジア太平洋地域における新たなルールをつくりあげていくことは、日本の国益となるだけでなく、必ずや世界に繁栄をもたらすものと期待している。

世界第三位の経済大国である日本が一旦交渉に参加すれば、必ず重要なプレイヤーとして、新たなルールづくりを主導していくことができると確信している。

我が国は、TPP交渉における議論に貢献していくとともに、守るべきものは守り、攻めるべきものは攻めていくことによって、日本の国益を最大限に実現していく。

平成25年4月21日

TPP政府対策本部長 甘利 明